



京都ノートルダム女子大学

Kyoto Notre Dame University

公開講座2022

ひきこもり

と

その支援

— いまを生きること —

KAWASE Masatoshi

NAKAFUJI Shinya

MITSUNAGA Chika



光永 智香
京都ノートルダム女子大学大学院
臨床心理学専攻修了生
臨床心理士・公認心理師

中藤 信哉
京都ノートルダム女子大学現代人間学部
心理学科講師・臨床心理士・公認心理師

河瀬 雅紀
医療法人(財団)桜花会醍醐病院・診療部顧問
京都ノートルダム女子大学名誉教授・精神科医

2022年

11月6日(日) 14:00~16:00 <13:30開場>

京都ノートルダム女子大学 ユージニア館 NDホール

参加費無料
<事前申込制>

<事前申込方法> 会場にて参加(先着100名)またはオンライン

ホームページ(<https://www.notredame.ac.jp/news/news/6126/>)からお申し込みください。
オンライン参加方法等は、お申し込み頂いた方に別途ご案内いたします。



〒606-0847 京都府京都市左京区下鴨南野々神町1 [交通アクセス]京都市営地下鉄烏丸線北山駅徒歩7分

主催/京都ノートルダム女子大学

後援/京都市、京都府、京都新聞、京都ノートルダム女子大学心理臨床センター

<https://www.notredame.ac.jp/>

河瀬 雅紀

| 医療法人(財団)桜花会 醍醐病院・診療部顧問 京都ノートルダム女子大学名誉教授・精神科医 |

〈講演概要〉 ひきこもりは身近にありながら、どのように相談したり声かけしたらよいかと戸惑い、支援が届かないこともよくあります。そして、ひきこもりに関わる支援では、就労・就学あるいは何らかの社会参加を目指すことが多いと思います。でも、それが見通せないこともあります。たとえば、ひきこもりが長期化するとこだわりが目立つようになり、そのこだわりがひきこもりを長期化します。また、ひきこもりからの変化に意欲が乏しくみえる場合もあります。それでも、家族も支援者も支援する側に留まることができるのは、支援の原点に立ち戻ったときのように思います。そして、ひきこもりの現状のなかで当事者や家族がいまを生きる、そのいまの理解の仕方にも支援のヒントがあるように思います。そんなヒントを一緒に考えていきたいと思います。

プロフィール●医療法人(財団)桜花会醍醐病院・診療部顧問(精神科医、医学博士)。京都ノートルダム女子大学名誉教授。これまで、メールによるひきこもり相談や地域のひきこもり支援団体との連携など、ひきこもりに関する啓発と支援を実践してきた。また、がん患者・家族の心理的ケア・グリーフケアを専門とし、京都府自殺対策推進協議会・会長として自殺対策にも力を注いでいる。●主な著書は『うつ病 知る 直す 防ぐ(編集)』(金芳堂)、『がん患者 グループ療法の実際(編著)』(金芳堂)等。



中藤 信哉

| 京都ノートルダム女子大学現代人間学部心理学科 講師 臨床心理士・公認心理師 |

〈講演概要〉 ひきこもりの方への支援として、「居場所」があることが大切だと言われます。「居場所」は日常的に使用される言葉ですが、いざ具体的に考えてみようとする、どこか曖昧で、掴みどころがない概念でもあります。どのような場や関係性であれば、人は、そこを「居場所」だと感じられるのでしょうか。ひきこもりの状態にある方が、「居場所」を得て、安心して居られるためには、どのような支援が必要なのでしょう。講演では、このような視点から、ひきこもりの状態にある方の理解と支援について、ご一緒に考えていければと思います。

プロフィール●京都大学大学院教育学研究科博士後期課程研究指導認定退学。博士(教育学)。京都大学学生総合支援センターカウンセリಂಗグループ特定助教を経て、現在京都ノートルダム女子大学現代人間学部心理学科講師。青年期を対象とした心理療法を専門としている。●主な著書は『心理臨床と「居場所」』(創元社)、『心理療法と「私」との出会い(共著)』(創元社)等。

光永 智香

| 京都ノートルダム女子大学大学院 臨床心理学専攻修了生 臨床心理士・公認心理師 |

〈講演概要〉 ひきこもり状態にある方々と接する中で、自分自身にひたむきに向き合っている彼らの思いを感じる日々です。ひきこもり支援では「就労」や「自立」という言葉を目にするのも多いかもしれませんが、就労や自立に至るまでは、家族や支援者が想像するよりも大きなハードルがあります。就労や自立も大切ですが、まずは「安心してひきこもれる・安心してその場に居れること」、「自分らしく生きること」が必要なのではないかと考えます。講演では、当事者やご家族の思いから「いまを生きること」について皆様と一緒に考えていきたいです。

プロフィール●2020年3月、京都ノートルダム女子大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻修了。臨床心理士、公認心理師。現在は堺市ユースサポートセンターにて、ひきこもり・不登校・ニートなどの生きづらさを抱える若者やそのご家族の相談に携わっている。

現代人間学部
心理学科対人援助とリサーチスキル
2つのコースと多彩な体験プログラム

心理カウンセリングコース

心理専門職や対人援助のスキルを活かした就職を目指します。心理支援やこころの健康を増進する心の専門家の国家資格「公認心理師」カリキュラムにも対応。20年を超える心理学教育の実績でサポートします。

【ここがポイント】

- 初年次ゼミでの職業イメージ形成
- 小児医療や不登校ボランティアなど、対人援助の体験型プログラム
- 院への特別推薦と早期履修制度
- 臨床心理士と2資格取得可能(大学院)

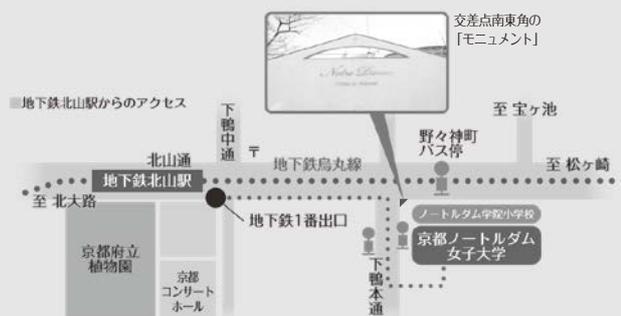


社会・ビジネス心理コース

調査力や企画力を武器に、社会やビジネスでの活躍を目指します。就職では、企画、リサーチなどの幅広いジャンルで活躍。フィールド型授業で実践力が培われます。

【ここがポイント】

- 手堅い就職実績・・・コース就職率100%!(2020年3月卒)
- 社会調査士や認定心理士(心理調査)などの資格取得が可能
- 地域の事業所や店舗とコラボしたリサーチや商品企画などのプロジェクト実績



交通ACCESS ●京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」①番出口より徒歩7分(北山通を東へ→下鴨本通を小学校・大学に沿って南へ→1つ目の角を東へ)
●市バス4号系統「野々神町」下車すぐ。もしくは、「北園町」下車 北へ徒歩5分

問合せ先/ 京都ノートルダム女子大学 研究・情報推進課
TEL.075-706-3789 FAX.075-706-3793
E-mail:kenkyu@ml.notredame.ac.jp